

# 安心・安全なまちづくりをめざします

菰野町議会

民政クラブ会報

2006年  
新年号

皆様におかれましては、  
健やかに新春を

お迎えのことと

お喜び申し上げます。

新年を迎え、今年こそ良い年であることを願う  
ものです。しかし日本を取り巻く経済状況は、大  
変厳しいのが現状です。

少子・高齢化が一層進む中、国の「三位一体の  
改革」「地方分権」が一向に進展しないまま、国  
民には、税負担だけが求められています。

多くの町村は、国が推進する「平成の大合併」  
により合併を余儀なくされ、これまで培ってきた  
地域のまとまりや、個性的な地域づくり、さらには、  
住民自治が崩壊しかねない深刻な状況にあり  
ます。

我が菰野町は、自立した町として行財政改革を  
進め、町民・行政が一体となり、「補完性の原理」  
のもと協働での街づくりを進めなければならな  
いと考えます。

住民ニーズの多様化が進む中で、地方自治体は  
こうした社会経済情勢の変化に対する的確な対  
応が迫られる一方で、それらを賄う税収の伸びが  
期待できないなど町政を取り巻く厳しい状況に  
鑑み、行政改革推進プランが作成されました。

我々民政クラブは、この社会経済の構造が大きく  
変化する中、従来の行政運営に変革を求められ  
ていることをより認識し、行政運営の質的な転換  
を図る必要があると考え、一層の改革を推進し、  
行政サービスが低下することなく改革を進めて  
まいります。



民政クラブメンバーが、菰野町で収穫したそば粉で打ったそばを、みずほ寮の皆さんに、食べていただきました。少し早めの年越しそばに、舌鼓を打って皆さん和やかな食事会でした。いつまでも長寿でと願うものです。12月25日

要望書

菰野町長 服部忠行殿

少子高齢化が進む中、日本経済は大変厳しい状  
況にあります。菰野町でも行政改革が進められ町  
民が安心して暮らせる街づくりを進めなければ  
なりません。  
自主財源の確保をしながら、効率的、効果的な予  
算措置を望むものです。住民本位の自立した街づ  
くりの推進のためにも、  
平成十八年度予算措置を次の通り要望いたし  
ます。

- 一、町民の福祉、子育て、教育を優先した予算措  
置をすること。
- 一、豊かな自然を大切にされた農業、観光、商工業  
など地場産業の予算措置をすること。
- 一、公共施設の耐震工事の早期実施を行うこと。
- 一、老朽化した朝上小学校体育館の早期完成。
- 一、図書館の早期建設予算措置を行うこと。
- 一、八風中学校校舎増築の予算措置を行うこと。

菰野町議会

民政クラブ

三重県警では、交番、駐在所の統廃合が進められようとしています。菰野町でも例外ではありません。民政クラブは代表質問でこの問題を取り上げ、町民の安心・安全な街づくりの為に県警に働きかけるよう提言いたしました。私たちは、自主防犯活動にも積極的に取り組んでいきます。

# 菰野町の将来のためにがんばる政策集団



佐藤 孝幸 (教育民生委員会委員長・会派代表)

自宅 TEL96-0623

新しい年の初めにあたり、私たち民政クラブの一同は、引き続き町民の皆様の真の代表として、ご意見を町政に反映すべく頑張っています。昨年は全国的には暗いニュースが多かった中、我が菰野町では、菰野高校野球部の甲子園初出場や、田光シデコブシ群落の国指定天然記念物、竹永小学校校舎の全面改築の竣工など、我々に元気を与えてくれる話題も多かったです。今年には図書館建設のめどを付けることや、公共施設の耐震化、教育施設の充実、福祉の向上、町民の健康を守る施策などに努力したいと思いますので、変わらぬご支援をよろしくお願い申し上げます。



伊藤 泰範 (産業建設委員会委員、会派副代表)

自宅 TEL93-1768

二期目を迎え、重大な責任を痛感しています。これから税や医療費など一段ときびしい負担増が予想されます。子育て支援、高齢者や障がい者や子どもたちが安心して暮らせる街づくりを目指して一層頑張ります。そして地域を支える将来にむけて実り多き農業をめざして、みなさまと共に考えます。菰野町も行政改革が進められます。ムダをはぶき町民に密着した行政を求めてまいります。鈴鹿の山々をいただく我が町、素晴らしい環境を大切に皆様とともに夢と希望に満ちた街づくりをめざして頑張っています。



黒田 勝 (監査委員)

自宅 TEL96-0774

菰野町監査委員として「三位一体改革」が進められていく中で、住民が真に求めているものは何かを的確に把握し、行政と住民が知恵を出し合い、費用対効果の適正、透明性の確保がなされ、行政運営をしていく必要があることから、健全財政の維持に努めてまいります。

また、地方財政は極めて厳しい状況にある中、18年度菰野町では、都市計画税が廃止され五千五百万円の減収になります。本町においても経費の削減と自主財源の確保に努めなくてはならないと考えています。今後ともご指導ご鞭撻をよろしくお願いいたします。



服部 勲 (総務財政委員会委員)

自宅 TEL96-0225

「豊かな郷土の創造」の推進を求め議会活動してまいります。菰野町が自立した街として行財政改革を進め町民との協働が不可欠です。日本の社会には伝統的地域コミュニティが機能してきました。そのために治安の良さ、介護負担の軽減など、結果として財政支出が低くなっていました。この菰野町の中であって町民の皆様には、補完性の原則にもとづき自らでできることは自らでそんな事を進めながら皆さんと共に菰野町発展のために活動してまいります。今後ともご指導ご鞭撻をよろしくお願いいたします。



諸岡 文人 (産業建設委員会委員長)

自宅 TEL96-0366

日本経済は大変厳しい状況ではありますが、菰野町は自立した街として限られた財源の中で複雑多様化する町民ニーズに対応するためには、まずは、経費の削減が必要不可欠です。そんな中、行政改革推進プランが作成されました。職員一人ひとりが自ら考え自ら行動する姿勢を示すことが重要と考えます。職員の創意工夫を奨励し業務改善意欲を高めること。また菰野町独自のマネジメントシステムの充実を推進させたいと思います。今年も皆さんの声を町政に反映させる活動をしていきます。どうぞよろしくお願いいたします。



矢田 富男 (議長)

自宅 TEL93-4045

少子高齢化で人口減少が大きく取り上げられる中、菰野町では、行政改革推進プランが作成され今年度からスタートいたします。自治体は、優れた公共サービスの効率的な提供をすることが大前提です。多くの町民の皆さんが、租税負担感が大きいと感じるのは税金の使われ方がよくわからない、また生活の豊かさが実感できない、そんな疑問の声が投げかけられます。私は、議会人として情報公開を積極的に進め開かれた議会とし、町民と行政のパイプ役として議会活動をしていきたいと思っております。